



津市 ため池ハザードマップ

分 部

大 山 田 池

この「ため池ハザードマップ」を目のつく場所において、日頃から防災に関心を持ちましょう。
避難場所への経路を確認し、いざという時には落ち着いて行動しましょう。

地図を見る上での留意事項

浸水シミュレーションは、平均化した地盤高で行っているため、小水路などの局地的な地形を反映できていないこともあります。

河川氾濫や下水道などがあふれる内水氾濫、また、その他の災害は考慮していません。

想定を超える事態や不測の事態が起こった場合、浸水想定区域外においても浸水被害が発生する可能性があります。

大山田池の概要

・堤高	2.1 m
・貯水量	1,000 m ³

浸水深の目安

2階の屋根を超える5.0m以上

2階の軒下までつかる5.0m

1階の軒下までつかる2.0m

大人の腰までつかる1.0m

大人の膝までつかる0.5m



水 深

	5.0m以上	…	2階の屋根を超える
	2.0m～5.0m未満	…	2階の軒下までつかる
	1.0m～2.0m未満	…	1階の軒下までつかる
	0.5m～1.0m未満	…	大人の腰までつかる
	0.5m未満	…	大人の膝までつかる

地図記号

	一時避難場所
	指定避難所 (海拔〇〇m)
	高速・国道・県道

指定避難所

名 称	指定避難所開設表示区分			
	洪水	土砂	地震	津波
楡形出張所	○	○	○	○
楡形小学校	○	○	○	○
一 時 避 難 場 所				
名 称	避難可能な災害種類別区分			
	洪水	土砂	地震	津波
長谷山集会所	○	○	○	○
長谷山市民館駐車場	×	×	○	○

地図の見方

この「ため池ハザードマップ」は、ため池が満水状態で、大雨や地震により万が一、堤体が決壊した場合に、氾濫した水がどのように広がり、どの程度の深さになるかを予想した浸水想定区域、最大浸水深や到達時間を示したものです。

地震の大きさや決壊箇所などの条件により、浸水想定区域が実際と異なる場合もありますので、日頃から浸水しやすい場所を把握し、災害の状況によって安全を確認して避難してください。

浸水区域内の一時避難場所、指定避難所には避難しないでください。